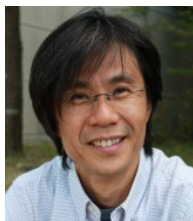


目標9 2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現
東洋の人間観と脳情報学で実現する安らぎと慈しみの境地

Project manager

今水 寛

株式会社国際電気通信基礎技術研究所 認知機構研究所 所長



代表機関

株式会社国際電気通信基礎技術研究所

研究開発機関

株式会社 XNef
 株式会社 KDDI 総合研究所
 東京大学

プロジェクト概要

仏教に代表される東洋の人間観と脳科学の知見にもとづき、心の状態遷移を脳ダイナミクスの観点から解明、その応用を行います。大規模調査と小集団への詳細な調査を組み合わせた心の状態に関する個性のモデル化、脳ダイナミクスの遷移をリアルタイムで推定し、可視化する技術の開発、それらに裏打ちされた瞑想法の開発と社会実装を行います。これらを通して、自分自身と向き合うことで、安らぎと活力を増大し、他者への慈しみを持てる社会を実現します。

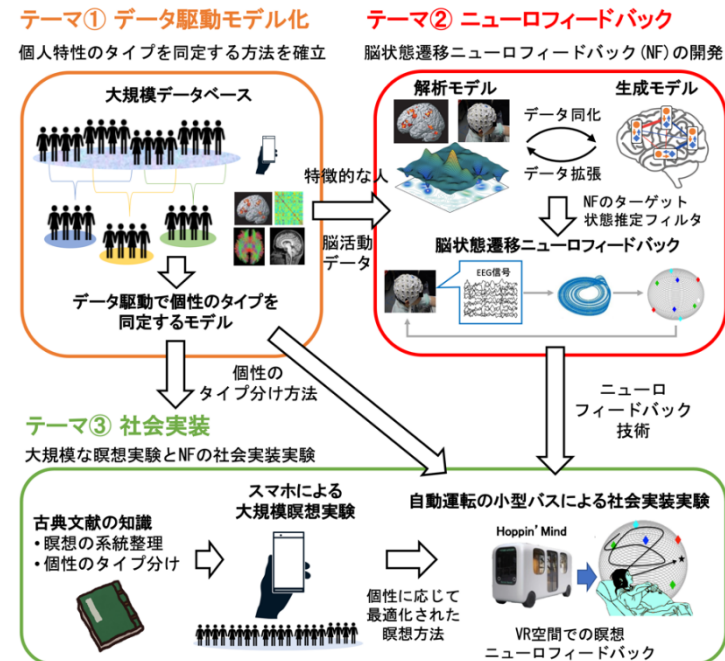
2032年のマイルストーン

- ニューロフィードバックと瞑想を組み合わせ、個人特性のタイプごとに安らぎと活力のバランスを最適化する方法を提案する
- 社会実装実験を実施、現実社会の中でどの幸福指標を変えられるかを特定する

2027年のマイルストーン

- 個人特性のタイプを同定する方法を確立する
- 脳状態遷移ニューロフィードバックの原理検証実験を実施する
- スマホによる大規模な瞑想介入実験を実施する

プロジェクト内の研究開発テーマ構成



- ① **データ駆動モデル化** 大規模調査と小集団への詳細な調査を組みあわせ、個性のモデル化とタイプ分けを行う。
- ② **ニューロフィードバック** 瞑想の本質である「脳の状態を自らコントロールすること」を脳情報の可視化技術とニューロフィードバック技術で実現する。
- ③ **社会実装** 仏教瞑想をスマホアプリに実装、大規模な瞑想実験を行い、最適化する。最適化された瞑想とニューロフィードバックの効果を社会実装実験で検証する。